

にし西

■編集

西区役所総務企画課広聴係 〒063-8612 西区琴似2条7丁目1-1

TEL 641-2400 内線224~226 FAX 641-2405

◎西区広報番組「西区情報プラザ」FMラジオ三角山放送局76.2MHz
毎週月曜日午前11時～

◎西区ホームページ <http://www.city.sapporo.jp/nishi/>

◎区民のページ 2006・4



まちの人



札幌芸術の森野外美術館 作品解説ボランティア

にしおか きみこ
西岡 公子さん(49)

札幌芸術の森では野外美術館の開館期間中(4月29日～11月3日)、午後1時から作品解説ボランティアによる定時解説を行っています(直接来館して申し込み。なお、20人以上の団体に利用する場合は事前の申し込みが必要)。

詳しくは札幌芸術の森へ (TEL592-5111)。



■芸術の森野外美術館で作品解説をしている様子

八軒在住の西岡さんは、札幌芸術の森野外美術館の作品解説ボランティア第一期生です。平成六年から始めて、今年で十二年になります。始めたころは、「本物の芸術作品から生け花に活用できることを学びたい」と思っていたそうです。そんなとき広報さつぽろに掲載されていた「作品解説ボランティア募集」の記事を見つけて応募したことがきっかけでした。

以前は美術にあまり興味がなかったそうで、最初に受けた研修では、講師の話を受けるのに精一杯。最初にお客さ

野外で見る彫刻の素晴らしさを伝えたい

んを前にしたときは、研修で教わったことを伝えるだけで「息をするのを忘れるほど」緊張したといいます。その後、作品制作の背景や彫刻家の心情を知ることになってからは、美術について学ぶのが好きになったそうです。今では「作品に込められた作者の思いを、やさしい言葉で楽しく伝えよう」と心掛けて対応しているといいます。

今までのお客さんとの出会いの中で一番印象深かったのは、砂澤ビッキの木彫「四つの風」を見に来たおばあさんのこと。「丘の上でこの森を見守っている観音様のように」という彼女の感想に、素直な心で作品を見ることの大切さに気付かされたそうです。その日は寒かったにもかかわらず、温かい気持ちになったといいます。

この活動が長い間続けられるのは「肩ひじ張らずに、まず自分が作品鑑賞を楽しんでいるから」。せつかく足を運んでくれたお客さんには「一つでも感動できる作品に出会ってもらえたらうれしい」と話す西岡さん。これからも芸術の森の素晴らしさを伝えていこうと意気込んでいます。

区民のページで取り上げてほしいテーマなど、皆さんからのご希望やご意見をお寄せください。はがき、ファクス、Eメール nishi@city.sapporo.jp、西区総務企画課広聴係(上欄)へ。

※砂澤ビッキ…北海道出身の彫刻家。1931年生、1989年没。